

重点施策 15 図書館蔵書及び機能の充実

【施策方針】

地域文化の創造・発展に寄与するとともに、誰でも気楽に利用できる図書館を目指し、機能と経営の充実を図り、市民の読書意欲に応え、教養が深まるよう努力している。

【実施状況】

(1) 主な施策・事業

- ① 蔵書内容の充実
- ② 読書活動の推進
- ③ インターネットによる蔵書検索、予約、及びレファレンスサービスの充実

(2) 主な施策・事業の実施状況

① 蔵書内容の充実

図書館は何といても蔵書の充実が最優先課題である。この蔵書の充実については、まず予算の確保が基礎となるため、予算編成時、蔵書購入費用がこの財政難のおり、財政的削減の対象とならないように財政担当部門の理解を得るようにしている。

蔵書の選択については、図書館流通センターから出される新刊リスト、ベストセラー、市民からのリクエストにより決定している。

② 読書活動の推進

国の制定した「子どもの読書活動の推進計画に関する法律」に基づき、八幡浜市こども読書活動推進計画の策定を図書館協議会委員とともに協議し作成した。

また、おはなしボランティア養成講座を開催し、読み聞かせボランティアグループの育成及び向上に努めている。

③ インターネットによる蔵書検索、予約、及びレファレンスサービスの充実

機能の充実については、平成19年度に八幡浜市民図書館、保内図書館のコンピューターシステムを統一した。これにより利用者カードを統一し図書の貸し出し、返却を便利な形で行なえるようにした。また、インターネットによる蔵書検索と予約を可能とし、それによってレファレンスサービス（注*1）の充実、リクエスト本の充実などを図っている。

注*1 レファレンスサービスとは、一言で言うと「調べもののお手伝い」です。図書館利用者が学習・研究・調査を目的として必要な情報・資料などを求めた際に、図書館職員が情報そのもの、あるいはそのために必要とされる資料を検索・提供・回答することによってこれを助ける業務のことです。

【学識経験者意見】

- 新刊は勿論、市民の要望に即した本を増やすことが利用者の増加につながると思う。予算面のこともあろうかと思うが、今後も図書館司書を中心に公立図書館にふさわしい選書を行い、蔵書の充実をお願いしたい。
- 読み聞かせボランティア団体はその功績を認められ表彰されている。このように子ども向きの読み聞かせは充実しているが、高齢者を対象とした読み聞かせなど、高齢者に主眼を置いた活動がまだ弱いのではないかと思う。超高齢者社会と言われている現在、高齢者の学習活動の拠点としての図書館経営を検討してはどうか。
- 図書館活動の充実には、市民が求める図書などの各種資料を提供したり、良書を選出したりする図書館司書の役割が重要であると考えます。八幡浜市民図書館（本館）には図書館司書が配置されていないと聞く。（保内は配置あり）法令上問題がないとは言え、役割の重要性を考えると配置が望ましいのではないかと思う。

【自己評価】

- 市民の要望(リクエスト等)に配慮しつつ、公立図書館として相応しい蔵書の充実を図っていききたい。
- 読み聞かせボランティアグループの育成、向上及びボランティアの募集については、ボランティア団体との連携をこれまで以上に密にしていきたい。また、ボランティア団体との連携により子どもたちを対象にした読書活動を推進しているが、高齢者を対象にしたものは、古典読書会講座等より高度なものの充実が望ましいと考えている。
- 良書の選書及びレファレンス対応の質的向上等には、熱意のある図書館司書の存在が必要不可欠と考えているので、配置を要望したい。例えば、国立国会図書館からの資料(デジタル化資料)提供を受けるには、図書館司書等の配置が条件となる。